

深めよう 地域のふれあい 広めよう ふくしの輪

白方地区社会福祉協議会広報誌

創刊号

発行責任者 富山 明
編集 集 総務グループ

事務局 白方コミュニティセンター
TEL 029 (287) 3534

ふくし白方

白方地区社会福祉協議会が発足しました

～白方・百塚・豊岡・岡・豊白・亀下・村松北・原子力機構百塚の8地域で構成～

東海村では、地域に密着した福祉活動の展開を目指して、6小学区を単位とした地区社会福祉協議会の組織化に向け準備を進めてきました。これにあわせて白方学区では、8地域による『白方地区社会福祉協議会』を組織し、昨年11月7日に設立総会を開催しました。



ごあいさつ

白方地区社会福祉協議会 会長 富山 明

昨年の本会組織化には、関係者の皆さまに格別のご支援を賜り改めて厚くお礼申し上げます。

当面の課題、介護予防の施策である新事業「ふれあい型食事サービス事業」を関係各位のご努力で立ち上げ、活動が始まり、その中で今回広報第一号が発行され本会活動の一翼となって情報提供の役割を担います。

今後の運営は、総務・支え合い・ふれあいのグループが各々の目標を掲げ、各地域の特性を加味しながら他団体と連携して活動を進めます。地域に密着した福祉活動を行うには、その地域で生活する人のみができることを中心に置き、また困った時はお互いさまの変わらぬ気配りがボランティア活動の根源です。無理なく継続し支えあう現代版福祉の結いが必要だと思います。

各地域でふれあい協力員が核となり、また多くの住民の参加が地区社協発展の条件です。全ての人が福祉を実感する“まち”づくりに向け、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

ふれあい型食事サービス事業がスタート！

～高齢対象者等の見守りと介護予防を目指して～

ふれあい型食事サービスは、高齢対象者の方たちを集会所等へお招きし食事や軽い運動をしながら介護予防をはかる『食事会型』と、会場まで来られない方に対し、状況確認を目的にお弁当をお持ちする『宅配型』があります。

第1回の食事会が4月9日(水)に白方コミセン及び各地域の集会所等で行われ、白方地区社会福祉協議会としての実質的活動がスタートしました。当日は、ふれあいグループの皆さんが白方コミセン調理室で心を込めて調理した昼食を、カーボランティアの方々がそれぞれの会場まで配送しました。各会場では、参加者の皆さんがふれあい協力員とテーブルを囲んで和やかに談笑しながら昼食をとる様子が見受けられました。参加者は総勢87名にのびりました。

また、4月2日(水)からは宅配型もスタートし、業者調理による昼食をふれあい協力員が対象となる方のご自宅までお届けしました。

食事会の様子(4月9日開催)



ふれあい協力員によって丹精込めてつくられる昼食



楽しく美味しくいただきます！





食事のあとは、ちょっとしたレクリエーションや楽しくおしゃべりも…

今後の食事会 開催予定	7月9・23日	9月10・24日
	10月8・22日	11月12・26日
	12月10日	1月28日
	2月12・25日	3月11・25日



ふれあい型食事サービス事業とは？

	食 事 会 型	宅 配 型
対 象 者	①65歳以上でひとり暮らしの方 ②65歳以上の高齢者のみの世帯 ③身体・精神・療育手帳の交付を受けたひとり暮らしの方	左記①～③に該当し、かつ外出困難な方
実 施 日	毎月第2・4水曜日 ※8月及び年末年始を除く	毎週水曜日 ※8月及び年末年始を除く
内 容	コミセンや各集会所での食事（手づくり）及び軽い体操など	業者のお弁当を ふれあい協力員が自宅まで配達
利用者負担額	200円／1食	200円／1食

この事業へ参加するには、それぞれの地域の民生委員さんによる申請が必要となります。

申込みを希望される方は、地域の民生委員さんへご相談下さい。

平成20年度 定期総会を開催

平成20年度定期総会を4月19日(土)に白方コミセンで開催し、本年度の事業計画並びに予算案が可決・承認されました。

また、総会終了後には日立市社会福祉協議会の宮本淳さん、同市大久保地区社会福祉協議会の八木廣子さんをお招きし、「地区社協の活動について」と題して講演をいただきました。



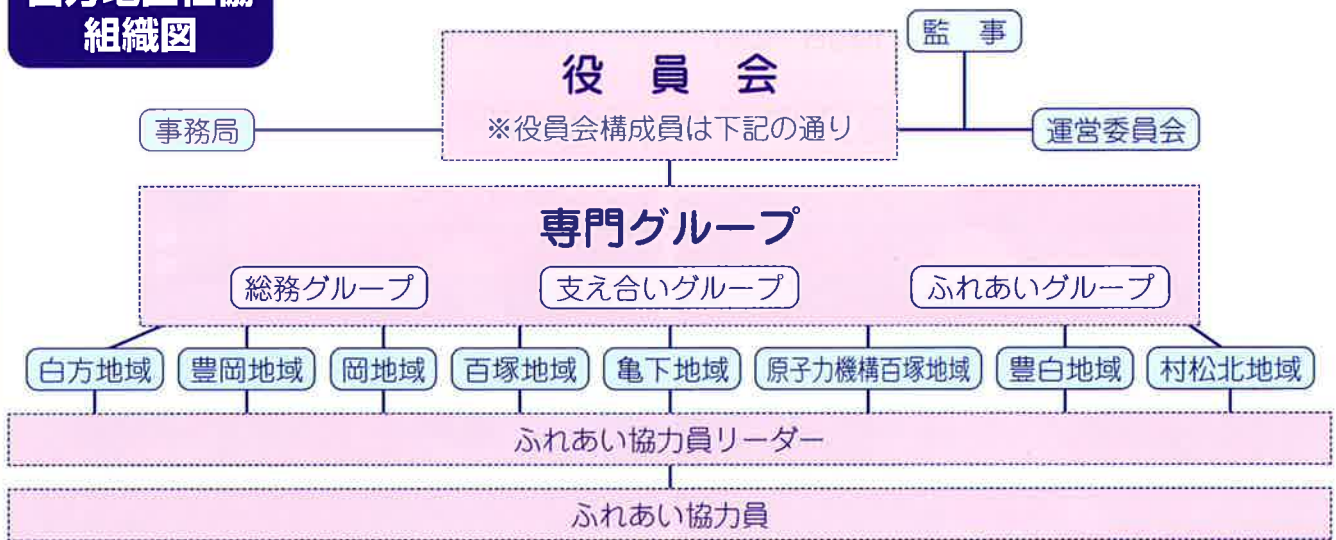
▲講演される八木さん

本年度の事業計画

- ふれあい型食事サービス事業
- ニーズ把握事業
- 見守りネットワーク事業
- ふれあい・いきいきサロン事業
- ふれあい協力員研修会
- 広報誌の発行(年2回)
- ふれあい敬老会
- 食育啓発事業



白方地区社協 組織図



役員会 構成員

会 長	富 山 明	ふれあい協力員 リーダー地域代表	白 方	蓮 田 弘・梅 津 秀 雄
副 会 長	大 内 義 房		白 岡	橋 本 義 晴
副 会 長	橋 本 幸 雄		岡	川 崎 邦 雄
総務グループ長	岡 田 伸 一		百 塚	井 上 雅 貴
支え合いグループ長	佐 藤 弘 子		亀 下	宮 本 莊 一
ふれあいグループ長	佐 藤 梅 子		豊 白	河 野 弘 伸
			村 松 北	疋 田 浩
			原子力機構百塚	山 口 大 義
	(事務局長 清 水 明		事務局員 呷 野 貞 子)	

編集後記

創刊号だけにお知らせ事項も多いため内容が多岐にわたり、またいささか堅いものになってしまいました。地区社協としても活動がスタートしたばかりで、まだまだ手探りの状態であります。今後事業が定着化するのにあわせて、本誌も特色あるものにするとともに内容も充実させていきたいと思っております。

(岡田)